

平成24年度  
実施事業

事務事業名 登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	3	③国際性豊かな人材育成
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 24 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	企画調整グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流を深め、日本とは異なる生活や文化を体験させることにより、生徒の人間性を豊かにし彼らの将来に良好な影響を与え、ともに、ファボー・ミッドフュン市との更なる交流推進の一翼を担うことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から希望者を市が公募し、友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣する。 【平成24年度事業内容】 ・派遣先 : デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市 ・派遣生徒 : 市内中学校及び明日中等教育学校前期課程の9名(最大)の生徒 ・派遣者の選考方法 : 市が派遣希望者を公募 ※一部の中学校で、応募人数が派遣人数を超えたため、抽選により決定 ・引率者 : 市職員1名、英会話が可能な教諭1名 ・出国前の活動 : 英会話やデンマークの文化・歴史、研修テーマの設定などの事前研修を9回開催 ・派遣先での活動内容 : 学校訪問、授業体験、生徒との交流、ホームステイによる生活体験、歴史的施設等の見学 ・帰国後の活動 : 報告書作成等の事後研修を6回開催 市主催の体験報告会を開催(参加者数:24名 ※派遣者及び市職員除く)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 本事業は、平成23年度までの「中学生海外派遣事業」の成果を踏まえて、参加人数、引率者などの見直しを図り、平成24年度から新たに事業を展開している。今後は、派遣者の意見や実績等をもとに検証し、必要な見直しを行いながら、実施手法や内容の充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) ・登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業実施要領 ・(参考)平成19年6月10日 ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称	千円	-				
道支出金 名称	千円	-				
地方債 名称	千円	-				
その他 名称	千円	-	2,064	2,380	2,380	2,380
一般財源 名称	千円	-	33	40	40	40
事業費 合計		0	2,097	2,420	2,420	2,420

指標の推移

《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	人	① 派遣生徒数(延べ人数)	-	9	18	27	36
			-	9			
			目標値				
			実績値				

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>・これまで派遣生徒数は市内中学校から各1名、明日中等教育学校から1名の計6名であり、また、派遣生徒の選考及び決定は、推薦によるものであった。</p> <p>・研修成果等については報告書としてまとめるが、派遣生徒の体験報告にあつては在籍学校での報告に留まっており、広く市民に周知される機会が少なかった。</p>	<p>・派遣生徒数を9名に増やすとともに、公募制を取ることにより、生徒の自発性を尊重し、積極的に参加する意思を持つ生徒への機会の拡充が図られている。</p> <p>・市主催の体験報告会を開催することで、研修の成果や体験したことを報告し、関係者への情報共有を図るとともに、参加される市民の方々の国際理解を深めるきっかけとなっている。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 ファボー・ミッドフュン市は当市の友好都市であり、教育分野における交流を市が実施することは妥当である。 なお、民間を主体とした実施については、関係団体等と意見・情報交換を行い意向を確認した結果、委託が困難であったことから、市が事業主体となり事業を展開している。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 派遣生徒は中学生のうちに異文化に触れることで、日本との相違を実感し、日本を見直す良い機会となっているとともに、帰国後の体験報告を通じ周囲の生徒達も外国に関心を持つという波及効果もある。また、派遣希望生徒数は枠を超え抽選を行って決定するなど、生徒からのニーズも多く、事業の必要性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 派遣に要する旅費等を主とした予算をもって実施しているが、派遣生徒においては異国の文化や生活習慣に触れることで世界に視野を向ける良いきっかけとなっているほか、その波及として市民の国際理解の向上等に寄与しているものと認識している。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 派遣される生徒数は限られるが、継続して実施することにより国際性豊かな人材を育成し、輩出することができる。 また、友好都市として両市の絆が深まり、双方の市民が交流していることなども成果の一つと認識している。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>改善</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業の実施により、国際性豊かな人材の育成や市民の国際理解の向上、更には友好都市との交流促進などに資することから、今後も事業を継続することが相当と考える。しかし、中学生の派遣に際し、さらなる安全への配慮をするため事業の改善を図ることとしたい。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>改善</b>	備考	担当の考えのとおり改善を行うこと。
-----------	----	-------------------

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>改善</b>	備考	担当の考えのとおり改善を行うこと。
-----------	----	-------------------

[評価区分]

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)